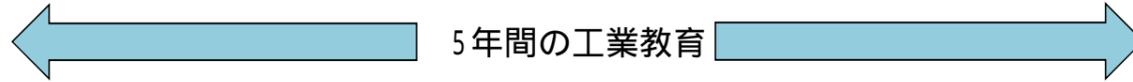


工業系高校専攻科の概要



項目	工業高等学校	高等学校専攻科(全日制)	
目的	中学校の課程を修了した生徒に高度な専門教育を施す	高等学校を卒業した者等に対し、精深な程度において、特別の事項を教授し、その研究を指導する	
入学資格	中学校卒業	高校卒業等(工業科系卒に限定等)	
修業年限	3年	2年	
卒業時の資格	高等学校卒	高等学校卒(専攻科の修了証書交付)	
教育課程	学習指導要領によって教育内容が決められている(国語、数学等の普通科目とともに、各学科の専門科目を学習)	専攻科における教育課程については別段の規制がなく、企業ニーズによって自由に編成することが可能	
1学年定員	90人~270人(山梨県)	1学科10人~20人(他県の公立専攻科)	
資格取得(機械系比較)	卒業時に取得を目指す主な資格として ・普通旋盤3級 ・フライス盤3級 ・機械保全3級 ・機械検査3級	卒業時に取得を目指す主な資格として ・普通旋盤2級 ・フライス盤2級 ・機械保全2級 ・機械検査2級	
区分	科目	科目(全日制・2年制を前提)	
機械系カリキュラムの参考比較	必修一般教育科目	国語、地歴、公民、数学、物理、保健体育、美術、英語、家庭	高度な技能・技術の修得に必要な科目に限定(例:産業社会学、経営システム工学、数学、物理学、英語)
	必修専門科目<講義・演習>(一般的な例)	機械工作(材料工学基礎 機械加工基礎) 原動機(流体力学基礎 熱力学基礎) 機械設計(機械設計基礎 機械力学基礎 材料力学基礎) 情報技術基礎(情報処理基礎) 生産システム技術(電気・電子基礎 制御工学基礎)	機械学 要素工学、ロボット工学 電子工学基礎 ロボット工学、電子工学基礎
	必修専門科目<実験・実習>(一般的な例)	工業基礎(基礎工学) 実習(機械加工) 実習(制御工学基礎) 製図(設計基礎) 企業現場実習(インターンシップ) 課題研究(卒業研究基礎)	先端技術実習 機械総合実習 数値制御機器実習 電子総合実習 プログラム実習 CAD実習 電子基礎製図 デュアルシステム 創造研究 技術者育成講座 等 デュアルシステム(教育と職業訓練を同時に進めるシステム)により、長期間の企業現場実習が可能
	教員資格		・高校教員免許を有する者 ・企業・大学等で特定の分野に特に優れた知識、技術、技能及び経験を有する者(教員免許を付与) 授業を高専並みに充実させるためには、研究面を指導する大学教授レベルの講師や、実践的な実習のため第一線で活躍する企業の実務担当者等の招聘等が必要
特記事項		一定の基準を満たす教育内容とすることで、大学へ編入できることになったため、生徒にとって将来への選択肢が広がった。(H28.4~)	

